

令和４年６月臨時会 提案説明要旨

（はじめに）

関西広域連合議会令和４年６月臨時会の開会に当たり、議員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

長引くコロナ禍に加え、ウクライナ情勢に伴う物価高騰など、地域経済にとっては依然として厳しい状況が続いています。そのような中、３年ぶりに行動制限のかからなかった今年のゴールデンウィークは、多くの人で各地が賑わい、今月10日からは、外国人観光客の入国制限が見直されるなど、経済活動の回復に向けた兆しも見えてきました。

去る５月21日、京都府を訪問した岸田総理から「来年３月27日に文化庁長官を始め京都の新しい文化庁での業務を開始する」との発言がありました。文化庁の関西移転を見据え、豊かな文化・観光資源が集積する関西の強みを地域経済の回復につなげてまいります。

ただ、新型コロナウイルスの感染は完全に収束したわけではありません。今後とも感染対策に留意しながら、感染拡大抑制と社会経済活動との両立に向け、構成府県市が連携して取り組みます。

また、広域連合設立から10年余りの社会情勢の変化を踏まえ、今後、広域連合が目指すべき姿や役割などについて、各分野の有識者から提言・意見をいただき、あわせて広域連合委員との意見交換を行いました。

今後は、これらの提言・意見を踏まえ、地方分権改革の推進をはじめ、関西広域連合として着手すべき取組の検討を進めます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、３月定例会以降の主な取組について御報告します。

（2025年大阪・関西万博）

第１は、2025年大阪・関西万博の取組です。

本年３月に閉幕したドバイ国際博覧会は、約2,300万人が来場するなど成功裏に終わりました。大阪・関西万博へも世界中からたくさんの方の来場が期待でき、開催に向けて、博覧会協会による会場整備の本格化や公式キャラクターの発表など、着実に準備が進んでいます。

先日公表された「アクションプランVer2」では、再生医療などのヘルスケアやデジタル分野を中心とした24施策が追加で盛り込まれました。先端医療をはじめとする関西の強みを世界中にアピールし、万博が日本全体の成長、発展の起爆剤となることが期待されます。

関西広域連合としましても、この機会を捉え、関西の魅力を世界に発信し、関西各地へのゲートウェイとなる関西パビリオンの出展を行うことと

しております。当初、今年度に設計業務、来年度以降に建設工事を行う予定でしたが、設計・施工一括発注とするメリットが大きいことから、この契約を行うための補正予算案を提出しております。議会の議決が前提となりますが、現在、公募プロポーザル方式による業者選定手続きを進めているところです。

万博開催まで3年を切りました。成功のためには国を挙げた盛り上がりが必要ですが、まずは関西から万博への機運を盛り上げていかなければなりません。博覧会協会や構成府県市と連携し、関西一丸となって機運醸成に取り組めます。

（「ワールドマスタースゲームズ関西」の開催支援等）

第2は、「ワールドマスタースゲームズ関西」の開催支援等です。

昨年10月の再延期の方針決定以来、国際マスタースゲームズ協会(IMGA)と協議が重ねられているところです。未だ会期の決定にはいたっておりませんが、組織委員会において引き続き協議を進めてまいります。

大会は延期となりますが、盛り上がりを見せる生涯スポーツの機運をさらに高めるとともに、成人のスポーツ参加機会の拡充を図るため、開催府県市との共催により「関西マスタースゲームズ2022」を開催します。今後も、スポーツを愛する多くの人々の期待に応えるため、ワールドマスタースゲームズ関西の成功に向け支援してまいります。

（ドクターヘリ運航事業の推進）

第3は、ドクターヘリ運航事業の推進です。

現在、7機のドクターヘリを運航し、近隣地域との相互応援体制も構築しているところですが、新たに、5月20日から「京滋ドクターヘリ」と「福井県ドクターヘリ」の相互応援運航を開始しました。これにより、関西圏域における「二重・三重のセーフティネット」が更に拡充されたところであり、引き続き府県市民の皆様の安全・安心の確保を図ります。

（広域インフラの整備促進）

第4は、広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線の大阪までの全線開業は関西経済にとって大きな起爆剤となります。1日も早い開業に向け、5月24日に北陸新幹線建設促進同盟会の建設促進大会に参加し、政府与党及び関係省庁に対して、「敦賀・大阪間」の早期全線開業について強く要請を行いました。特に当初の目標であった同区間の令和5年度当初着工を実現するためには、まさに、今年度が正念場、非常に重要となりますので、これまで以上にしっかりと国に働きかけます。

（「広域的な様式・基準の統一」に向けた取組の推進）

第5は、広域的な様式・基準の統一に向けた取組の推進です。

行政における各種手続きについて、自治体ごとに異なる様式や基準などの統一を求める声が強く寄せられています。これらを整理し、統一・共通化を行い、申請にかかる企業等の事務を効率化することは、関西のビジネス環境の向上につながることから、府県を超える経済圏を有する広域的な自治体として、構成府県市等の理解を得ながら、ビジネスしやすい環境づくりに努めていきます。

今回、まず「高圧ガス販売事業」の届出様式等の共通化に取り組み、域内全ての府県・市町村において共通様式での届出が可能となり、来月1日から事業を所管する府県・市町村の窓口での受付を開始します。今後とも引き続き、広域的な様式・基準の統一に向け、取組んでまいります。

（広域計画の推進）

第6は、広域計画の推進です。

第4期広域計画が今年度で終了となるため、次期計画の策定を進めています。「2025年大阪・関西万博」を契機とした取組や、東京一極集中、少子高齢化の進展など関西が直面している長期的な課題への対応を念頭に、広域事務、政策の企画調整等の推進や、分権型社会実現に向け、広域連合議会をはじめ、広域計画等推進委員会、経済界等から幅広くご意見をいただき、計画案を取りまとめます。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第8号議案「令和4年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）の件」です。関西パビリオン整備事業設計・施行業務について、令和4年度から7年度を期間とし、5億3千384万5千円の債務負担行為を設定します。

第9号議案は、「関西広域連合個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件」です。法律の改廃に伴い、所要の改正を行います。

第10号議案は、「監査委員の選任について同意を求める件」です。広域連合議会選出の1名が辞職により欠員となったことから、選任について同意を求めるものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をお願いします。